

# 株式会社 ナビバード

- ・所在地: 大阪市中央区久太郎町2-5-12
- ・代表者: 代表取締役社長 山中和也
- ・資本金: 8,032万円
- ・従業員数: 10名
- ・URL: <http://www.navibird.co.jp/>



## 企業概要

※2013年5月現在

株式会社ナビバードは、2004年設立の海外向けB to Cのネット通販事業者。主に女性向けのファッションや雑貨を扱い、多言語対応(日本語、英語、中国語)のサイトを通じて、日本で流通している商品を海外の消費者に販売する。アジア・北米を中心にプロモーションを行っているが、ネットのため広がりがあり、世界各地での販売実績を持つ。

今後、新たな商品の取扱いや、他のネット通販事業者への新サービスの展開も検討する等、着実に事業を拡大中。

▲山中和也 代表取締役社長

## Q.海外展開を目指すようになったきっかけは？

このビジネスモデルを思いついたのは、個人的な体験が原点になっています。以前、勤めた会社でオーストラリアに赴任したのですが、服や身の回り品を現地で購入したところ、日本製品との品質やサイズの違いに愕然としました。結局、そのときは日本の通販カタログで必要な品を注文して日本の実家へ届けてもらい、それをオーストラリアまで国際郵便で送ってもらったのですが、非常に時間がかかりました。そこで、海外にいる日本人駐在員や日本ファンに日本製品を届けるというニーズがあるのではないかと考えたのです。その後、ネットの時代がやってきたところで通信販売を勉強し、この会社を設立しました。

## Q.海外展開の現状について教えてください。

「JSHOPPERS.com」という店舗名で展開しています。当初から国内販売は考えておらず、対象はもっぱら海外の消費者です。主にレディース向けのファッションや雑貨、ビューティー商品を扱っており、約50万人の会員のうち8割が女性、20代から30代がメインターゲットです。日本人の利用者は少なく、ほとんどが海外ローカルの消費者です。売上はアジア・北米・豪州で半分以上を占めており、これまでに約120カ国への販売実績があります。毎日、海外から注文のあった商品が当社の倉庫に届き、注文者ごとにパッケージして、夕方、発送するという仕組みです。

サイトでの価格表示や決済は日本円で行っており、為替リスクは消費者側の負担をお願いしています。注文者の想定以上に関税がかかるかと再利用していただけないので、関税がいくらになるかを事前に案内するなど顧客サービスを工夫しています。また、中国の青島に子会社を設立し、バックオフィス業務を行っています。メールやチャットにも対応し、フェイスブックなどのSNSを利用して情報発信しています。私自身も1~2ヶ月に一度はアジアを中心に海外へ出張し、サイトへのアクセスを促すために、現地の新聞・雑誌やポータルサイトを使ったプロモーションに力を入れています。

## Q.海外展開を目指す企業にアドバイスは？

海外の拠点には、マネジメントのため、日本から1名ずつ社員を派遣しています。当初から海外に派遣する目的で採用するのですが、人材確保には苦労しています。「人」が一番難しいと思います。

## Q.今後の事業展開を教えてください。

新たにアキバ系商品の取扱いを始めようと、現在、プラモデルやフィギュア、ゲームなどの問屋と準備を進めています。また、東日本大震災の後、一時中断していた食品の取扱いも再開する予定です。食品は日本人の利用率が高い分野で、「食品を扱ってほしい」という要望をたくさんいただいています。

さらに、海外発送に対応していない日本の通販サイトに対して、商品の海外への発送を代行するサービスも検討しています。このサービスにより、海外のお客様は、現在、海外発送に対応していないサイトの商品もご購入いただけるようになるでしょう。



▲「JSHOPPERS.com」の画面



▲倉庫での梱包の様子



▲青島事務所でのカスタマー対応